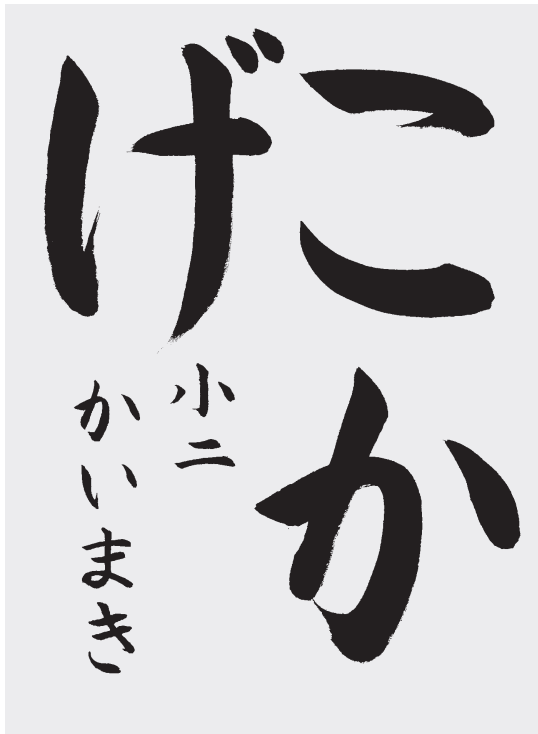


〔8月3日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

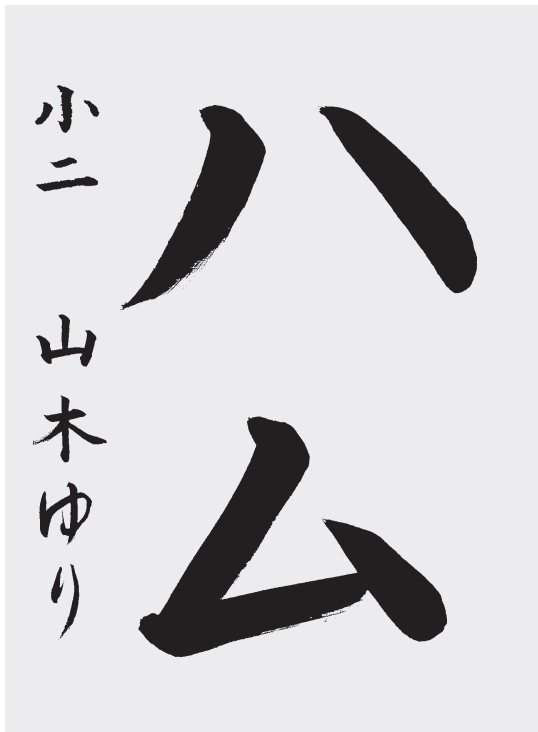


大平邑峰先生

幼・小学1年参考手本



大内熒軒先生



広瀬舟雲先生



種谷萬城先生

〔8月3日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



前田龍雲先生



田村鄭雲先生

小学3年参考手本



後藤大峰先生



崎井恵風先生

〔8月3日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本



名越蒼竹先生

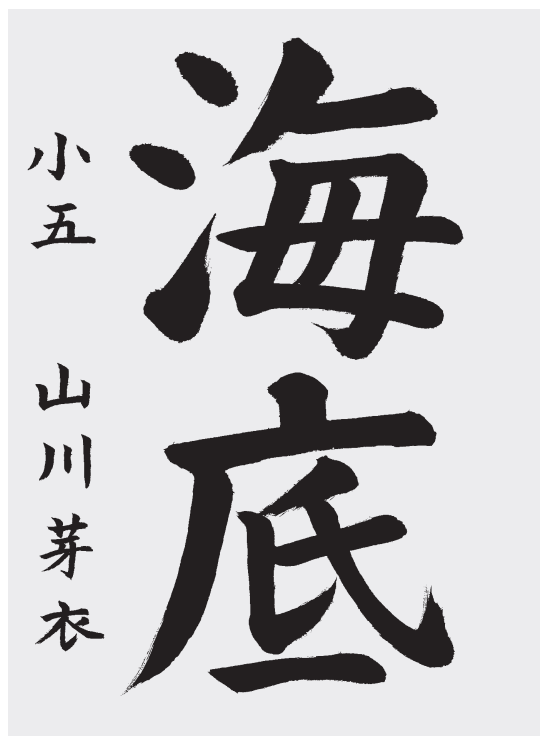


坂本素雪先生

小学5年参考手本



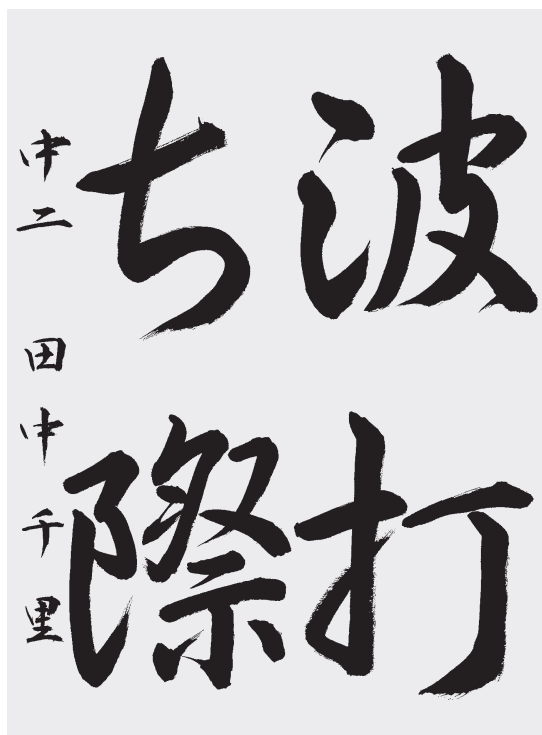
半田藤扇先生



北村白琉先生

〔8月3日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

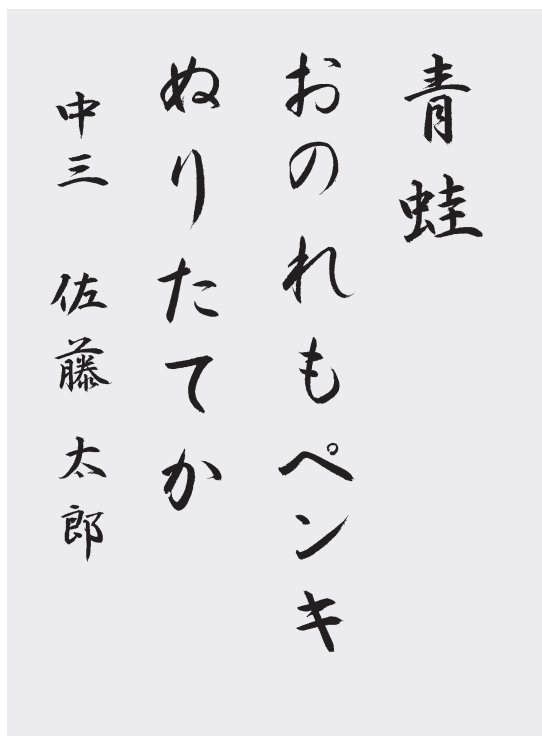
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



東 福 青 篁 先生



佐 藤 菜 扇 先生



小 竹 石 雲 先生



小 林 琴 水 先生

毛筆参考手本解説(1)

1年

る
る(教)
る(明)
る(教)

に
に(教)
に(明)
に(教)

に
に(教)
に(明)
に(教)

2年

け
け(教)
け(明)
け(教)

こ
こ(教)
こ(明)
こ(教)

ハ
ハ(教)
ハ(明)
ハ(教)

3年

生
生(教)
生(明)
生(教)

青
青(教)
青(明)
青(教)

月
月(教)
月(明)
月(教)

中
中(教)
中(明)
中(教)

心
心(教)
心(明)
心(教)

4年

寺
寺(教)
寺(明)
寺(教)

院
院(教)
院(明)
院(教)

寺
寺(教)
寺(明)
寺(教)

美
美(教)
美(明)
美(教)

い
い(教)
い(明)
い(教)

5年

思
思(教)
思(明)
思(教)

や
や(教)
や(明)
や(教)

思
思(教)
思(明)
思(教)

海
海(教)
海(明)
海(教)

底
底(教)
底(明)
底(教)

底
底(教)
底(明)
底(教)

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましよう。
ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

毛筆参考手本解説(2)

6 年

中学

あける

道路

道路(ヨ)

道路(明)

道路(教)

《筆順》

一 二 三 四

首道

道路

道路

とめる

の大空

中心

大空の旅(ヨ)

大空の旅(明)

大空の旅(教)

《筆順》

一 二 三 四

空

空

空

空

やさしい行書

点画がつながる

波

つながる気持ち

波打ち際(ヨ)

波打ち際(明)

波打ち際(教)

点の変化

異口

異口同音(ヨ)

異口同音(明)

異口同音(教)

《筆順》

一 二 三 四

波

波

波

波

波

波

波

波

波

波

波

波

波

波

波

中心

湖畔

湖畔(ヨ)

湖畔(明)

湖畔(教)

《筆順》

一 二 三 四

湖

湖

湖

湖

湖

湖

湖

湖

湖

湖

湖

湖

湖

※手本は許容で書いています
上下をあける

青蛙
おのれもペンキ
ぬりたてか

※ポイント

①漢字より平仮名をやや小さく

②行頭に高低の変化をつけたり、
行間に変化をつけたりして書
いてもよい。

③筆はどの大きさでもかまいま
せん。工夫してみてください。

青蛙

おのれもペンキ
ぬりたてか

(例)

行頭を
変化して書く

ひらがなの字源 (405)

か	て	た	り	ぬ	も	れ	の	お	字源	字形
加	天	太	利	奴	毛	礼	乃	於		
か	て	た	り	ぬ	も	れ	の	お		
か	て	た	り	ぬ	も	れ	の	お		
か	て	た	り	ぬ	も	れ	の	お		
か	て	た	り	ぬ	も	れ	の	お		
か	て	た	り	ぬ	も	れ	の	お		
か	て	た	り	ぬ	も	れ	の	お		
か	て	た	り	ぬ	も	れ	の	お		
か	て	た	り	ぬ	も	れ	の	お		
か	て	た	り	ぬ	も	れ	の	お		

※字源については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。

※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

「国語科書写の理論と実践」
全国大学書写書道教育学会編より転載

〔8月3日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 2 年

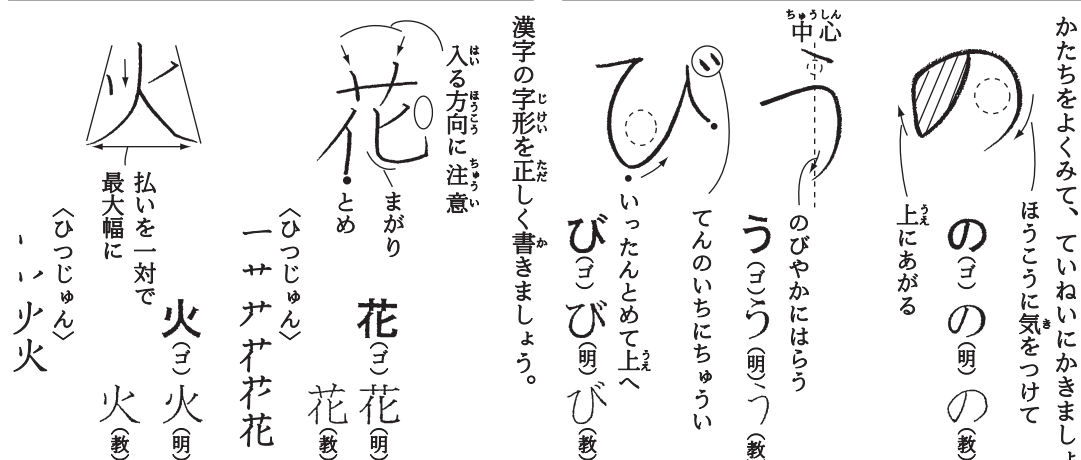
幼・小学 1 年

硬筆參考手本

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。ゴシック体（ゴ）・明朝体（明）・教科書体（教）・HGP行書体（H）

支 部 名									
段 ・ 級									
学 年									
二									
名 前									
本 山 一 花									

支 部 名			
だん・きゅう			
がくねん			
一			
なまえ			
ふじきらん			



〔8月3日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 4 年

小 学 3 年

支 部 名			
	ラ	ヘ	ふ
	ン	久	る
段・級	プ	し	さ
	を	ぶ	と
学 年	し	り	の
	ま	に	友
名 前	し	行	人
	た	き	の
	。	、	家
		ト	

支 部 名			
	ス	午	
	ト	後	
段・級	が	は	
	あ	、	
学 年	り		
	ま	国	
名 前	す	語	
	。	の	
		テ	

中心
行
《筆順》
ハ 行 行 行 行
ハ 行 行 行 行

中心
家
《筆順》
ハ 家 家 家 家
ハ 家 家 家 家

中心
友
《筆順》
一 ナ 友 友
一 ナ 友 友

漢字とひらがなのバランスに気を付けて書きましよう。

語
《筆順》
言 語 語 語 語
言 語 語 語 語

中心
国
《筆順》
口 国 国 国 国
口 国 国 国 国

後
《筆順》
分間をととのえて書きましよう。
後 後 後 後 後
後 後 後 後 後

〔8月3日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 6 年

小 学 5 年

支 部 名			
段・級			
学 年	六		
名 前	植木 早織		

心	足	
が	感	友
伝	や	人
わ	来	と
っ	年	や
て	へ	り
き	期	と
ま	待	げ
す	す	た
。	る	満

支 部 名			
段・級			
学 年	五		
名 前	村田 勇		

力	て	
で	お	石
電	湯	炭
気	を	・
を	わ	石
つ	か	油
く	し	を
る	・	利
。	そ	用
	の	し



〈筆順〉ノ イ イ 仁 伝 伝
伝 (3) 伝 (明) 伝 (教)

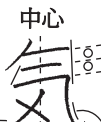


感 (3) 感 (明) 感 (教)

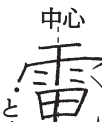


満 (3) 満 (明) 満 (教)

文字の外形を見て、形を整えましょう。



気 (3) 気 (明) 気 (教)



電 (3) 電 (明) 電 (教)



炭 (3) 炭 (明) 炭 (教)

字形を整えて、ていねいに書きましょう。

〔8月3日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生 (行 書)

支 部 名				
段 ・ 級				
学 年	中二			
名 前	蔵元 泉未			

岬の果ての断崖にそびえ、
海に向かって導くように光を
放つ灯台にロマンを感じます。

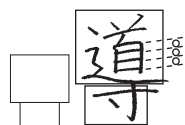
中 学 生 (楷 書)

支 部 名				
段 ・ 級				
学 年	中二			
名 前	蔵元 泉未			

岬の果ての断崖にそびえ、
海に向かって導くように光を
放つ灯台にロマンを感じます。

感	1
感	后
感	后

・行書のワンポイントアドバイス
小学校で習った筆順とは別な筆順もある漢字の一例として「感」の書き方を次に示しました。「盛」も同様です。



導 (筆順)
一 首 道 道 導 導



果 (筆順)
一 日 旦 果 果

左右の払いを一对で幅広く

中心 岬の果ての断崖に

漢字、ひらがな、カタカナをつりあいよく書きましょう。

これからの作品締切日と課題

令和7年9月号～8年2月号までの作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)		小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日	
三筆 平安の	遣唐使	美術	列車	平行	月見	やさい	ま	9月7日	9月
はな くさの	無我夢中	くりの実	読む	虫のこえ	光る	おんぷ	ふえ		
秋の夜長	有徳(孔子廟・集字)	庭園	青空	考える	水玉	このは	ら	10月6日	10月
ぐも いわし		気配り	里の秋	風力	ランプ	もみじ	きく		
漢和辞典	運河(孔子廟・集字)	街角	ちぎれ雲	葉	点	あかり	ひ	11月4日	11月
くれ あきの		現代の書	野原	赤い実	火山	リズム	そら		
知る 字源を	海月(集字聖・集字)	ブランド	冬山の朝	詩人	マウス	まほう	お	12月3日	12月
かな しぐれ		誠実	理想	もみの木	森	ひなた	かぶ		
白雪紅梅	神秘(集字聖・集字)	湖水	働く	毛筆	馬	てがみ	さ	1月5日	1月
しらゆき		事始め	福笑い	星の光	大会	へいわ	うま		
三寒四温	名品(九成宮・集字)	発展	クレヨン	切手	金づち	ミルク	な	2月8日	2月
たけうま		氷点下	最初	とりの声	土星	きもの	おに		

9月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1

は	と
な	も
し	だ
ま	ち
し	と
よ	、
う。	

小2

と	白
青	い
い	か
そ	み
ら	に
を	赤
か	い
く。	花

小3

の	夜
光	空
が	に
と	か
ても	が
きれ	やく
い。	星

小4

た	地	日
い	下	本
へ	の	は
ん	マ	活
活	グ	火
発	マ	山
です。	の	が
	活	多
	動	く
	が	

小5

ま	図	課
と	を	題
め	用	や
る	い	発
方	て	表
法	一	の
を	番	仕
考	う	方
え	ま	を
る。	く	

小6

の	え	台
用	て	風
意	、	な
が	食	ど
大	料	の
切	や	天
。	生	災
	活	に
	用	備
	品	

中学生

計	漢
した	字
もの	を
を	書
	く
	時
	、
	ひ
	と
	筆
	で
	書
	け
	る

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、(公財)書道芸術院評議員です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第101回 石碑建立物語10

令和6年7月10日水曜日10時30分より、学校法人武蔵野大学創立100周年記念碑の除幕式が東京都中央区にある築地本願寺「憩いの庭」記念碑設置場所に仮設テントを建てて、盛大に開催された。式次第は次の通りである。

- 1, 開式のことば 武蔵野大学副学長 小西聖子
- 2, 式辞 学校法人武蔵野大学理事長 長野了法
- 3, 除幕 ●左右の紐の前に4人ずつに分かれて並び、合図とともに紐を引く。

築地本願寺宗務長 中尾史峰 様、学校法人武蔵野大学理事長 長野了法、学校法人武蔵野大学学外理事者会会長 石上智康、武蔵野大学学長 西本照真、学校法人武蔵野大学中高等経営担当常務理事 中村好孝、武蔵野大学教授 廣瀬裕之、むらさき会会長 平山眞見、くれない会会長 斧田留美

- 4, 宗務長挨拶 中尾史峰 様
- 5, 建立の由来 廣瀬裕之
- 6, 製作者挨拶 株式会社大川石材会長 大川 等 様

- 7, 閉会のことば 武蔵野大学副学長 小西聖子
- 天気は晴れでとても蒸し暑い日であった。右の5で、私がこの時に述べた話の一部分(抄)を次に記してこの記念碑建立物語のまとめとしたい。

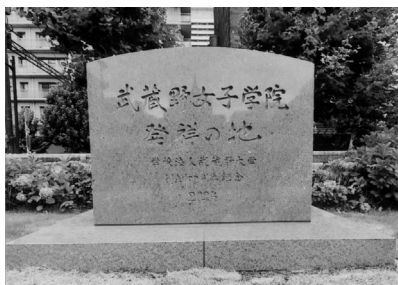
まず一番にご紹介したいことは、この記念碑はこれから千年この姿のままずっと保てるように日本一堅く摩滅しにくい石材を選定し、今後予想される地震や津波にも耐えられる碑の構造としたこと。歳月を経るにしたがって味を増すメンテナンス不要のデザインとしたこと。これらが他大学のどの創立記念碑よりも優れている最大の長所であります。ゆえにこれらを加味して私は3種類デザインし、役員の方々の投票で採用された石碑の形がこれであります。

最近の石碑建立は、デザイナーに依頼し、オシャレなモニュメント式にするものが増えてきました。これらも一案で、見た目は現代的で良いと思います。しかし、問題は、完全な形を保てるのはせいぜい百年で、石材でオシャレに作った箇所は、風化して欠けやすいからです。よって石材選びが最も重要で、次に装飾はなるべく廃し、できるだけシンプルな形にする必要があることが見逃せないのです。また、文字を刻した部分にペンキなどの色を入れているものをよく見かけます。文字を見えやすくするのはよいことですが、早くて数年過ぎると塗料が剥け始めメンテナンスしないとみすばらしくなります。よい石碑は、刻した部分に何も入れなくても文字が読め、時が減るにしたがいその文字刻の味がしだいに増すというものが最高な造りなのです。この碑の見所は、本体だけではなく台石の石もすべて庵治石の細目とすることです。庵治石の一番の特徴の美しい斑模様(あまめ)が台石にとっても多く見られますのでご覧いただきたいと存じます。

▲除幕式の様子



▲完成した百周年記念碑



今月のホープ



ふからうへの連綿が、実に美しく自然に表現出来ました。太細を伴うかなのしなやかなリズムが圧巻です。

中三 平岩 悠 (書楽)



基本点画のしっかり安定した筆使いがすばらしい。本文、名前ともに穏やかで温かみがあり、好感度抜群です。

小三 井田 菜月 (治田書道会)

支那名	高井	の	た	
段・級	段・級	銅	だ	きれ
学 年	六	像	いた	いな
氏 名	藤井 望央	前に	ので	花を
		生	校	数本
		けた。	舎	い
			入	
			口	

落ち着いて取り組み、真面目な書きぶりです。穏やかで、すっきり整った爽やかな充実した作品です。

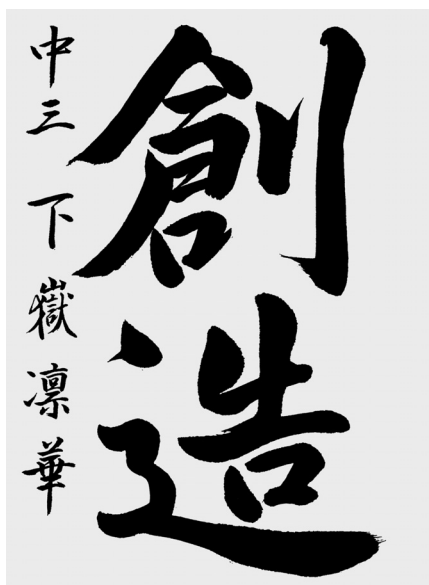
小六 藤井 望央 (高井)

支那名	天	る	新	
段・級	段・級	こと	しい	この
学 年	五	です。	学	会議
氏 名	渡辺 凜空		級	の
			委	目的
			員	は、
			を	
			決	
			め	

正確で整った字形は抜群の美しさです。懐広く、大らかで安定した作品。名前も丁寧で堂々と書けました。

小五 渡辺 凜空 (天璋書道教室)

春季昇段級試験最優秀作品



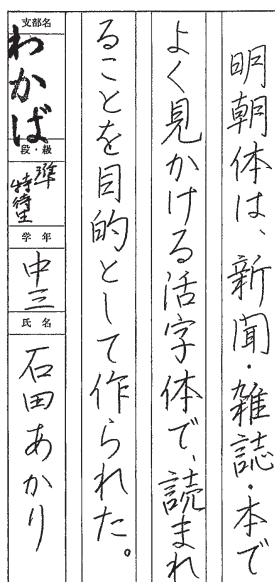
中三下 嶽凜華（土気書）

自然な気脈で滑らかな行書は、名前まで一貫してリズムが崩れず見事な作品です。しなやかさの中に芯があり温かいです。



小六 山田真澄（翠）

泰然と筆が動き、雄々とした面持ちで運んだ見ているこちらまで引き込まれるスケールです。筆使いも逸品です。



中三 石田あかり（わかば）

とても読みやすい行書作です。漢字とひらがなのバランスが見事、名前も素晴らしい。日頃のノートを見てみたいです。



小六 八木彩心（雲母）

字形が整い、大きく伸びやかです。しっかりした線、ひらがなの柔らかさが全体を安定させ、存在感ある文字です。

◇ お 知 ら せ ◇

。事務所の夏季休暇は

8月9日(土)～8月14日(木)です。

よろしくお願いいたします。



8月号の清書のしめきりは、

8月3日(日) 必着

おくれないようにお送りください。

尚、9月号の雑誌(8月3日締切バーコード出品券)
は、7月25日(金) 発送予定です。

◎競書出品に際してのお願い◎

最近、課題違反作品を多くみかけます。

事務所に作品を発送くださる前に、再度以下の
点についてご確認をお願い致します。

○学年の課題を書いているか？

○その月の課題を書いているか？

○硬筆課題の文章を間違えていないか？

漢字の間違いはないか？

○出品券の貼り間違いがないか？

令和

年

月

日

◇ 登 録 用 紙 ◇

団体番号		支 部 名		先 生 名	
------	--	-------	--	-------	--

※氏名を楷書で記入してください。

※毎月 **1 5** 日までに登録された方は次月から出品可能です。

※退会の処理は年 2 回の昇級試験時に手続きをお願いいたします。

※ 3 月に登録される時は、備考欄に新学年を記入してください。

※現在の学年を明記してください。



氏 名	ふ り が な	学 年			備 考
		幼	小	中	

◇ 部 数 変 更 届 ◇

現 在		増 減	合 計
冊	月号から		冊
事務局使用欄			

※部数減の変更は、毎月 **1 5** 日までに

部数増の変更は、いつでも事務局へご連絡下さい。

FAX番号 (03) 3862-1957

※この用紙をコピーして繰り返しお使い下さい。

幼・1年

ま
もりじゅん

ふえ
小一 うえたしろう

2年

いやさ
小二 やしろみさ

おん
小二 歌川 空

3年

月見
小三 前田友子

光る
小三 大田由美

平行
小四 上田花子

虫のこえ
小四 田中小春

5年

列車
小五 小口友子

読む
小五 石坂礼美

美術
小六 川田洋一

のく実り
小六 上田友子

中学

遣唐使
中一 仁木光一

無我夢中
中二 藤 愛

平安の三筆
中三 田中一太

くちのはな
中三 丸田直子

編集余録

○春季昇段級試験の最優秀作品と特待生に合格された方を紹介しました。また、審査長の下谷洋子先生より総評を頂きましたので、今後の学習の参考にして下さい。皆さんの益々の上達を願っています。

○7月9日より、第76回毎日書道展が開催されます。毎日書道展は、出品数約2万3000点の国内最大規模の公募展です。書道芸術院の先生方も多く出品していますので、是非足を運んでみてください。

○今月のお手本「青蛙おのれもペンキぬりたてか」は、芥川龍之介の俳句です。この句の現代語訳は「テカテカに光った青蛙が一匹います。まるでペンキを塗ったばかりのようでした。そういえば、自分もこの蛙と同じで、ペンキ塗りのような、上辺だけで中身の無い人間なのです。」という意味になります。

芥川龍之介は、大正から昭和初期にかけて活躍した小説家・文学者です。短い生涯にもかかわらず、数多くの優れた作品を生み出し、日本の近代文学の発展に大きく貢献しました。短編小説の「羅生門」や「蜘蛛の糸」などが有名ですが、俳句も数多く作り、夏目漱石や松尾芭蕉などの影響を受け、1000句以上詠んだとされています。
(悠輝)